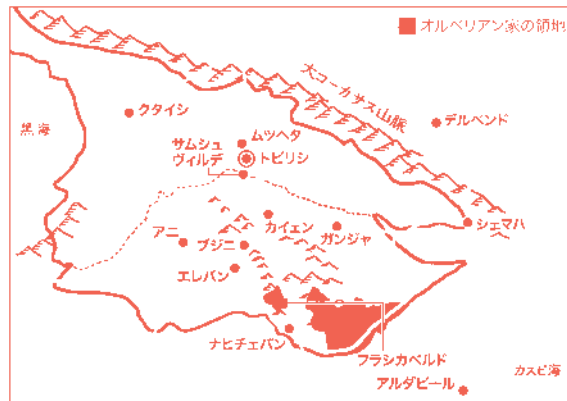
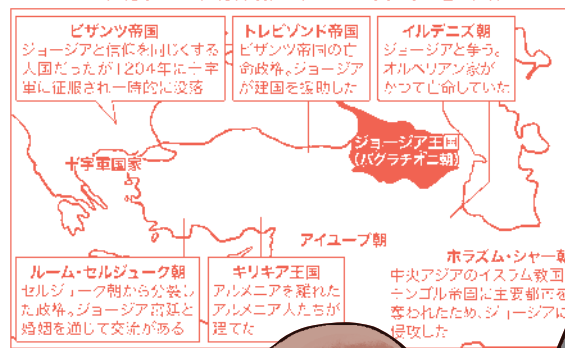


13世紀ジョージア王国とアルメニア 主な都市と道



12世紀末～13世紀初頭、ジョージア王国を取り巻く世界



コーカサス紀行



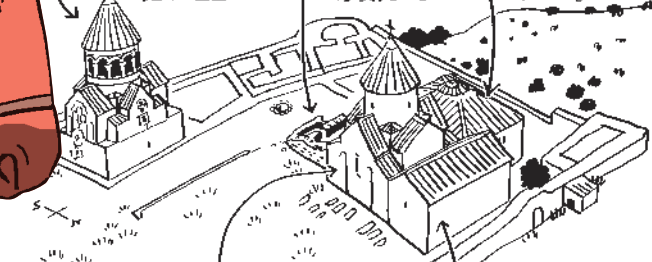
ラヴァンク修道院

13～14世紀にオルベリアン家のもとで建てられた建造物が今も残ります

Surb Karapet Church
1216～1227年にリパルトが建てた聖堂
崩れています

Gavit (前室)
1261年にスムバトが建てたもの
天井近くにライオンと戦う
スムバトのレリーフが
彫られている

Surb Astvatsatsin Church
1339年にブルヘル・オルベリアン
(タルサイチの孫)が
建てた聖堂



Surb Stepanos Nakhavka Church
1216～1221年にリパルト、アブラハム、
ナルギス主教が建てた聖堂

Surb Grigor chapel
1275年にタルサイチが
建てた聖廟
オルベリアン家の
墓石が並ぶ

修道院近くのアレニ村は
ワインで有名です。
紀元前4100年頃のワイナリーと
現代のワイナリーが楽しめます。



ライオンの
レリーフの
墓石

タルサイチの墓
(大ぶる)

スムバトの墓

他の兄弟や家族の墓もあったのかもしれませんが私(トマス)には分かりませんでした。血眼で墓を探していたら現地ガイドさんにオルベリアン家の末裔が何人かいたと言われました。

スムバト

オルベリアン家の
次男、
エリクムの弟。

エリクム

スムバトの兄。
父の後を継ぎ
当主となった。

STORY

西暦1236年、ユーラシア大陸に広大な領域を広げるモンゴル帝国が、ジョージア王国を飲み込もうとしていた。美貌で名高い女王、ルスダンは東からの侵略になす術を持たず、王国内各地の領主たちは次々と王家を見かぎり、モンゴルへ寝返っていく。スィウニク領主オルベリアン家もそのひとつ……。

田舎貴族オルベリアン家の次男で、宰相アヴァクの元に預けられていたスムバトの人生は、父リパルトが何者かが放った矢に倒れたことで、動き出す。

父リパルトの死の真相、宰相への疑念、かつてジョージア王を裏切ったオルベリアン家の秘密——。自分たちが何者なのかを知りたいと強く願うスムバト。そんな時、いよいよモンゴル軍が侵攻してくる。「モンゴルに寝返るぞ」。スムバトは兄エリクムとともにモンゴル軍の天幕へと出向いて行くが……!?

モンゴル軍



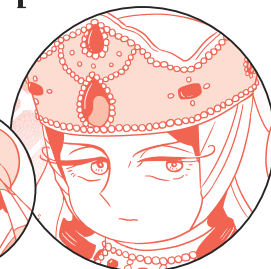
バイジュ
モンゴルの将軍。



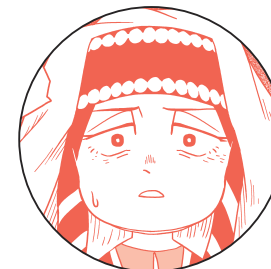
チョルマゲン
将軍。
モンゴル軍総司令官。



ファルハード
ガンジャ市
生まれの詩人



ルスダン
ジョージア王国の
女王陛下。



グヴァンツァ
アヴァク・
ザカリヤンの妻。



アヴァク・ザカリヤン
ジョージア王国の宰相。
女王陛下の次に偉い。

登場人物 - characters -

ジョージア王国 ほか